

よくわかる

化学・繊維株

セクターアナリストの視点

主に炭素源を原料とした素材産業



石油



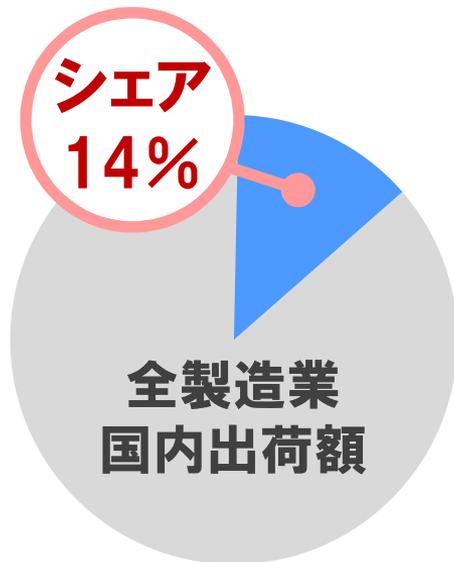
天然ガス



石炭

化学・繊維セクター 概要②

化学系の国内出荷額は自動車産業に次いで大きい
(2014年)



工業出荷額
43.5兆円

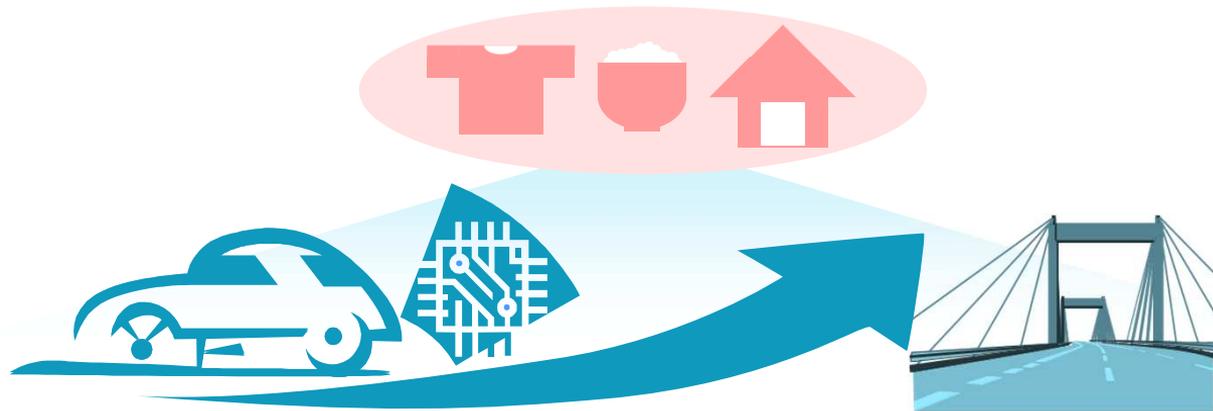
- 化学9%
- プラ製品4%
- 繊維1%



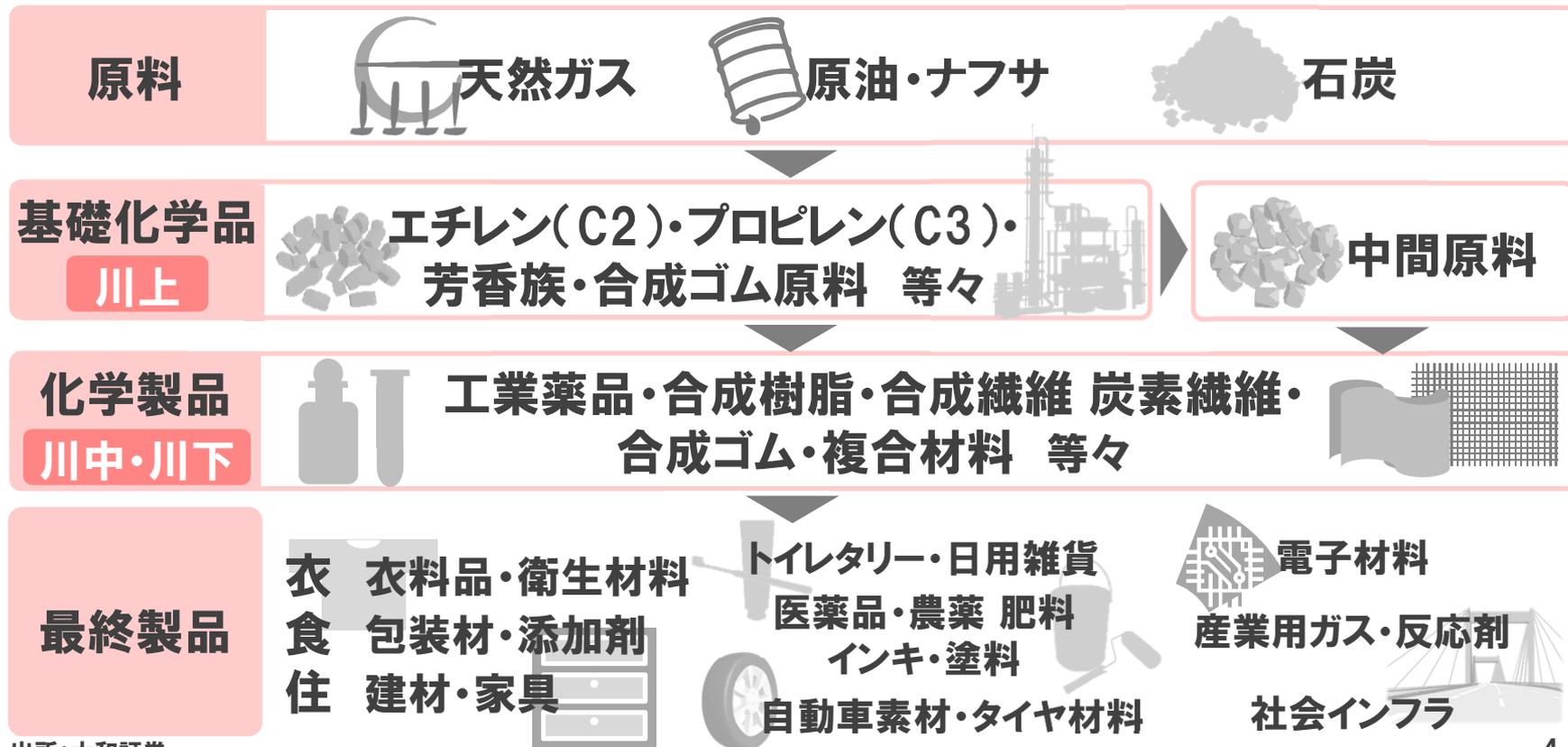
付加価値額
15.2兆円

- 医薬品
- プラスチック製品
- ゴム製品を含む

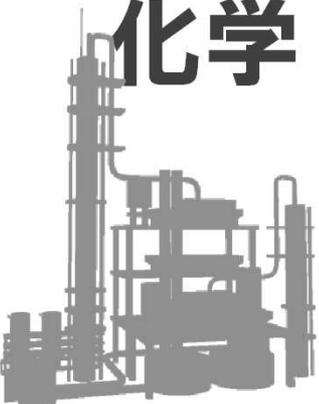
人々の暮らし(衣食住)・健康を支え
諸産業の高度化に貢献
(自動車・エレクトロニクス・インフラ・他素材)



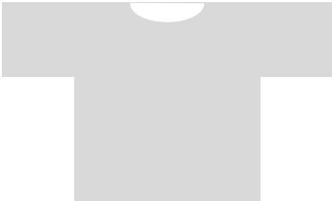
化学・繊維の製品フロー



サブセクターと特徴①

サブセクター	事業領域、特徴	代表銘柄
<p>総合 化学</p>  	<p>エチレンを始め 大規模プラントを 有する大手企業。 川上から川下まで製品展開。 医薬品、エレクトロニクス、住 宅など多角化が進んでいる。</p>	<p>三菱ケミカル ホールディングス (4188) 住友化学 (4005) 旭化成(3407)</p>

サブセクターと特徴②

サブセクター	事業領域、特徴	代表銘柄
<p data-bbox="208 532 401 624">繊維</p> 	<p data-bbox="529 336 1213 631">衣料用繊維を縮小し、産業用の高機能繊維（不織布、炭素繊維等）に注力。</p> <p data-bbox="529 663 1298 882">現在では繊維よりもフィルム、化学系素材、ヘルスケア等を育成。</p>	<p data-bbox="1363 336 1707 401">東レ(3402)</p> <p data-bbox="1363 430 1721 495">帝人(3401)</p> <p data-bbox="1363 524 1750 589">クラレ(3405)</p>

サブセクターと特徴③

サブセクター	事業領域、特徴	代表銘柄
<p>ファイン ケミカル</p> 	<p>医農薬、インキ・塗料、 高機能プラスチックなど、 川中・川下を中心に展開。 特定の製品群でグローバル 化を推進。 営業利益率やROEが比較的 高い。</p>	<p>積水化学工業 (4204) ダイセル(4202) デンカ(4061)</p>

サブセクターと特徴④

サブセクター

事業領域、特徴

代表銘柄

電子
材料



半導体材料、ディスプレイ材料などで世界的にも高シェアを有する。

ただし、競争環境は年々激化。

豊富な資金力の使途と低ROEは課題。

信越化学工業
(4063)

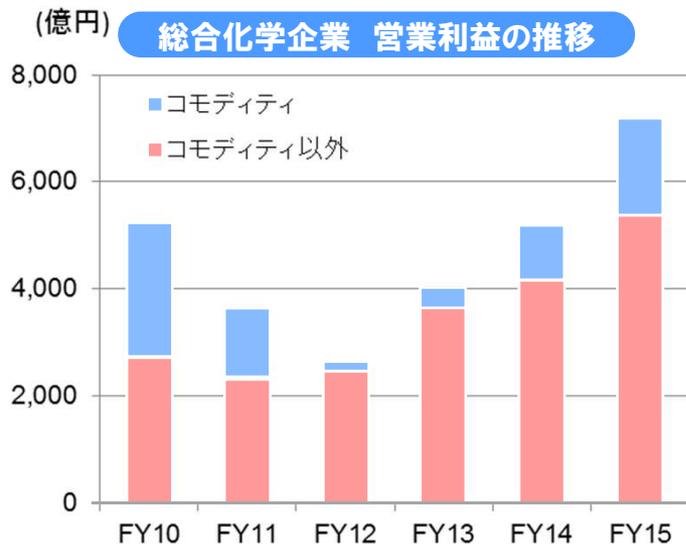
日立化成
(4217)

JSR(4185)

近年の営業利益推移

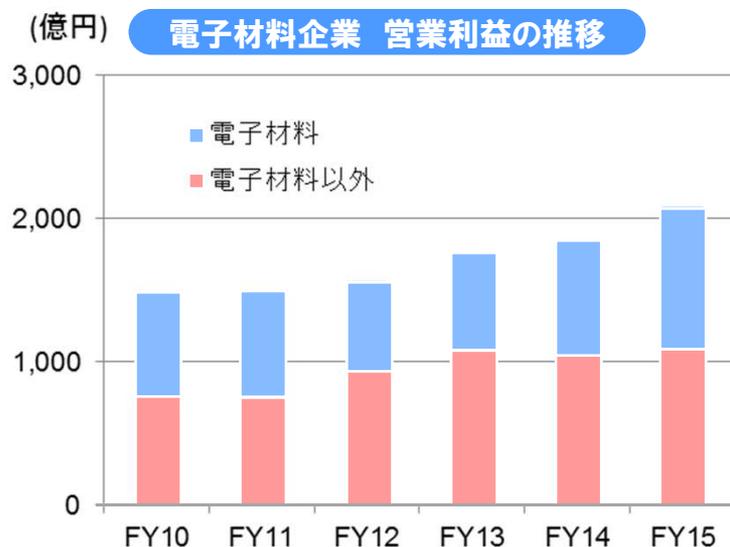
総合化学

コモディティの構造改革と、非コモディティの育成で好調



電子材料

スマホ向け需要増・円安享受も、単価下落で緩やかな成長



ファインケミカル

海外拡販と高付加価値化で成長

日系化学・繊維企業の戦略

日本企業の戦略

	国内	海外
コモディティ	<ul style="list-style-type: none">○設備能力を内需見合いに縮小（コスト削減、収益変動抑制）	<ul style="list-style-type: none">○資源国企業との合併事業に活路（中東、北米などの安価原料を利用）○海外企業の撤退案件のM&A
スペシャリティ（非コモディティ）	<ul style="list-style-type: none">○安定的なキャッシュカウ事業○高機能素材のR&D機能を保持	<ul style="list-style-type: none">◎先進国、途上国とも需要拡大◎販路拡大はM&Aが有効（ヘルスケア、農薬）○電子材料は中国戦略がポイント

今後のポテンシャル

スペシャリティの育成がより重要に

1 自動車関連

- 軽量化(例:樹脂コンパウンド、炭素繊維)
- 電動化(例:リチウムイオン電池材料)
- 電装化(例:ヘッドアップディスプレイ材料)

2 有機EL材料

3 ヘルスケア

- 米先端分野を買収、ビジネスモデルを習得

成長ポテンシャル (1) 自動車①

自動車の軽量化

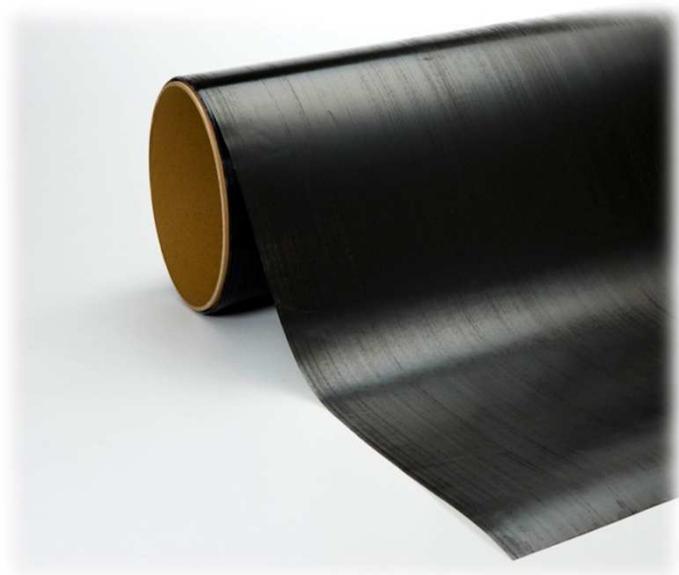
炭素繊維プリプレグ

PPコンパウンド

軽量かつ安価なポリプロピレン(PP)で金属部品を代替

炭素繊維

自動車台数の1%×100kg搭載で、炭素繊維市場は現状比2倍以上に



出所:東レ

成長ポテンシャル (1) 自動車②

自動車の電動化

リチウムイオン電池用セパレータ

リチウムイオン電池材料

電気自動車向けの需要増。
特にセパレータが有望



出所:住友化学

成長ポテンシャル (1) 自動車③

自動車の電装化

HUD用ガラス中間膜

ヘッドアップディスプレイ(HUD)
材料

走行データの視認性向上に寄与

※ HUD情報を鮮明に映し出す
には、特殊なガラス用フィルム
が必要に



出所:積水化学工業

成長ポテンシャル (2) ヘルスケア

ヘルスケア = 北米・先端分野に注目

着用型自動除細動器

着用型自動除細動器

バイオ医薬品関連 など



出所: 旭化成

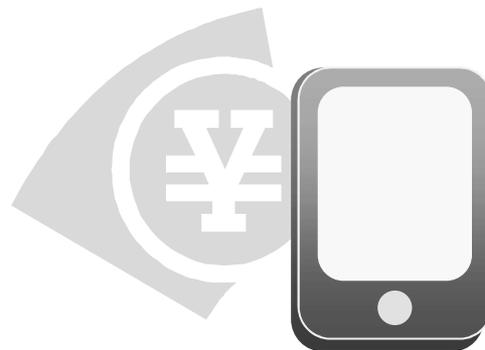
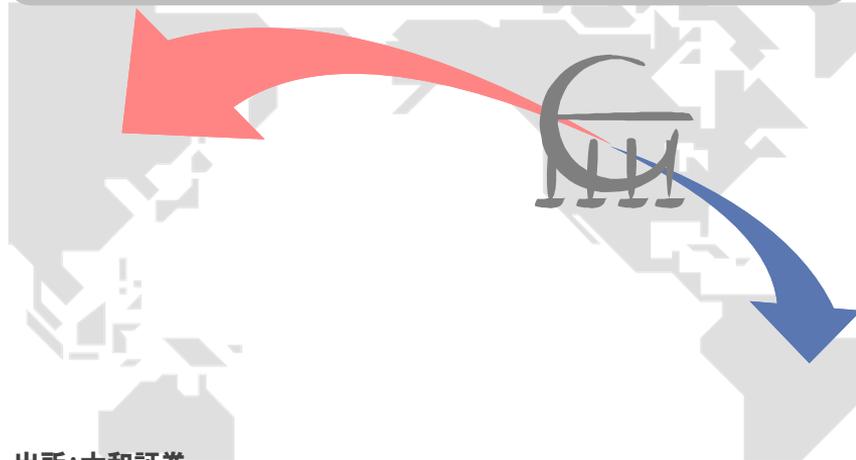
リスク

コモディティはリスク含み

- ✓ 米シェールガス由来の化学品が一部アジアへ
- ✓ 円高で日本への輸入品増

電子材料は民生分野減速

- ✓ スマートフォンの成長鈍化
- ✓ LCDの中国シフト(単価下落)
- ✓ 円高



開示事項

【株式レーティング記号について】

株式レーティング記号は、今後12ヶ月程度のパフォーマンスがベンチマークとする株価指数の騰落率と比べ、以下の通り判断した事を示します。(2015年1月以降のレーティング付与或いは更新より適用。2014年12月末以前に付与或いは更新されたレーティングについては6ヶ月程度のパフォーマンスとベンチマークとする株価指数の騰落率との比較です)

- 1(買い)=15%以上上回る
- 2(アウトパフォーム)=5%~15%上回る
- 3(中立)=±5%未満
- 4(アンダーパフォーム)=5%~15%下回る
- 5(売り)=15%以上下回る

各国におけるベンチマークは以下の通りです。

日本: TOPIX、米国: S&P 500、欧州: STOXX Europe 600、香港: ハンセン指数、シンガポール: ストレイト・タイムズ指数、韓国: 韓国総合指数、台湾: 加権指数、オーストラリア: S&P ASX200指数

【利益相反関係の可能性について】

大和証券は、このレポートに記載された会社に対し、投資銀行業務に係るサービスの提供、その他の取引等を行っている、または行う場合があります。そのような場合には、大和証券に利益相反が生じる可能性があります。

【当社及び大和証券グループについて】

大和証券は、(株)大和証券グループ本社の子会社です。

【保有株式等について】

大和証券は、このレポートに記載された会社が発行する株券等を保有し、売買し、または今後売買することがあります。大和証券グループが、株式等を合計5%超保有しているとして大量保有報告を行っている会社は以下の通りです。

(平成28年6月30日現在)

大末建設(1814) イチケン(1847) 日成ビルド工業(1916) アコーディア・ゴルフ(2131) サムティ(3244) サンセイランディック(3277) ムゲンエステート(3299) 日本ヘルスケア投資法人(3308) ケー・エフ・シー(3420) 川田テクノロジーズ(3443) ケイアイスター不動産(3465) ビリングシステム(3623) エニゴモ(3665) 神島化学工業(4026) セプテーニ・ホールディングス(4293) トリケミカル研究所(4369) ラクオリア創薬(4579) ノザワ(5237) 中山製鋼所(5408) 東邦亜鉛(5707) 東京製綱(5981) リンクバル(6046) アライドアーキテクト(6081) ウィルグループ(6089) 日進工具(6157) 中村超硬(6166) 鎌倉新書(6184) ホープ(6195) 平田機工(6258) 三相電機(6518) ダブル・スコープ(6619) ミツミ電機(6767) スミダコーポレーション(6817) フェローテック(6890) エノモト(6928) アストマックス(7162) GMOクリックホールディングス(7177) ノジマ(7419) ブイ・テクノロジー(7717) 大興電子通信(8023) マネーパートナーズグループ(8732) 大和証券オフィス投資法人(8976) 日本賃貸住宅投資法人(8986) セレスポ(9625) 帝國ホテル(9708) パーカーコーポレーション(9845) (銘柄コード順)

【主幹事を担当した会社について】

大和証券は、平成27年7月以降下記の銘柄に関する募集・売出し(普通社債を除く)にあたり主幹事会社を担当しています。

大豊建設(1822) ヨシムラ・フード・ホールディングス(2884) 鳥貴族(3193) ホットランド(3196) アクティブア・プロパティーズ投資法人(3279) イオンリート投資法人(3292) ヒューリックリート投資法人(3295) 日本ヘルスケア投資法人(3308) トーセイ・リート投資法人(3451) ケネディクス商業リート投資法人(3453) ケイアイスター不動産(3465) 三井不動産ロジスティクスパーク投資法人(3471) 昭栄薬品(3537) 農業総合研究所(3541) コメダホールディングス(3543) テクノスジャパン(3666) オプティム(3694) マイネット(3928) ベネフィットジャパン(3934) グローバルウェイ(3936) 扶桑化学工業(4368) OATアグリオ(4979) インターワークス(6032) ファーストロジック(6037) 日本ビューホテル(6097) プランジスタ(6176) 日本郵政(6178) GMOメディア(6180) ソネット・メディア・ネットワークス(6185) アトラエ(6194) イワキ(6237) ツバキ・ナカシマ(6464) リファインパース(6531) ジャパンインベストメントアドバイザー(7172) かんぽ生命保険(7181) ゆうちょ銀行(7182) 富山第一銀行(7184) アトム(7412) TASAKI(7968) 極東貿易(8093) オリックス不動産投資法人(8954) 平和不動産リート投資法人(8966) ジャパン・ホテル・リート投資法人(8985) 学究社(9769) (銘柄コード順)

【その他の留意事項】

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願い申し上げます。レポートに記載された内容等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく修正、変更されることがあります。内容に関する一切の権利は大和証券にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いします。

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗(支店担当者)経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大1.24200%(但し、最低2,700円)の委託手数料(税込)が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほか、為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の30%以上で、かつ30万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価(購入対価・売却対価)のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号

加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会